



鎌倉の出版社

港の人

ご注文は JRC へ

ひろ せ つとむ

FAX 03-3294-2177

ぶん げい そう さく
わたしの文芸創作

いし だ せん
石田 千

(作家・東海大学文化社会学部教授)

ISBN978-4-89629-467-5 C0095 46判並製本／本文 256 頁／定価：2200 円税込

エッセイや小説で人気のある作家・石田千は 2015 年から東海大学文化社会学部文芸創作学科特任教授を務めるが、2020 年、コロナ禍でキャンパスにも行けず友人にも会えない孤独のなかの学生と、メールでやり取りするリモート講義を行った。俳句って何？俳句を作ってみようと勧め、文章を読むこと、書くことを丁寧に伝えていく。本書は、当時のリモート講義テキストで、コロナ禍の苦境のなか、メールでやり取りした学生との心の交流の記録である。そして石田千の文芸創作入門書。俳句を作りたい人、文章を書いてみたい人にぜひおすすめの本です。

石田千の講義

俳句を読む／つくる

俳句ワークショップ

＊

現代文学の展望

現代文学のフロンティア

＊

エッセイを読む／書く

＊

現代小説論

小説で読む現代社会



装丁：南伸坊

石田千 いしだせん

1968 年福島県生まれ、東京育ち。作家。2001 年、「大踏切書店のこと」により第一回古本小説大賞受賞。2016 年、『家へ』（講談社）にて第三回鉄犬ヘテロトピア文学賞受賞。民謡好きで、『唄めぐり』（新潮社）を著するなど記録にまとめている。主な著書に『あめりかむら』（新潮社）、『バスを待って』（小学館）、『夜明けのラジオ』（講談社）、『からだとはなす、ことばとおどる』（白水社）『箸もてば』（新講社）、『窓辺のこと』（港の人）など、『月金帳 第 1 集』（港の人）は牧野伊三夫との共著。2015 年より、東海大学文化社会学部文芸創作学科特任教授、2024 年より、同専任教授。

＊すべての取次からご注文は可能です（JRC 経由）。返品条件付き注文扱い

番線印	ご注文数	石田 千 わたしの文芸創作
ご担当：	様	冊 ISBN978-4-89629-467-5 定価 2200 円税込